

7. 淀川（宇治川及び瀬田川を含む）

(1) 水域の概要

日本最大の湖「琵琶湖」を源とする淀川は、その上流部では瀬田川、中流部では宇治川と呼ばれ、京都府・大阪府境界付近で桂川、木津川と合流した後は淀川となり、大阪市をはじめとする近畿圏の中心部を貫き大阪湾に注ぐ流域面積8,240km²、幹川流路延長75.1kmの一級河川である。

(2) 水質の状況

1) 水域類型指定状況（図 7.1）

既存生活環境項目（BOD・COD・全窒素・全リン等の水生生物保全環境基準を除く項目）の水域類型指定状況は、瀬田川全域・宇治川(1)・宇治川(2)・淀川下流(1)・(2)の5区分で、瀬田川全域・宇治川(1)はA類型、宇治川(2)・淀川下流(1)はB類型、その下流はC類型に指定されている。

2) 水質汚濁の状況（表 7.2、図 7.2～図 7.4）

BOD75%値の5年平均を見ると、最下流の伝法大橋では近年の水質がやや高くなっているが、それ以外の地点では年々水質が改善している。いずれの地点も継続的に環境基準を満たしている。

3) 亜鉛の水質の状況（図 7.5～図 7.7）

全亜鉛は概ね0.005～0.01mg/Lの範囲で変動している。

淀川本川における亜鉛排出事業所としては下水処理場・洗濯業・金属製造業等、全体で23件存在しており、そのうち当該水域へ直接放流する事業所（PRTR対象事業所）は3件で、年度排出量が1000kg超・100kg超・10kg超・1kg超・1kg以下の順で見ると2件・0件・0件・0件・1件となっている（出典：平成18年度水質汚濁物質排出量総合調査データ、平成18年度PRTRデータ）。

(3) 水温の状況（図 7.8～図 7.9）

水温は、上流付近で平均水温17℃程度であるが、下流へ向かうにしたがって上昇し、下流域では平均水温18℃程度となっている。

(4) 水域の構造等

1) 河床材料（図 7.10）

河床材料は、上流域から洗堰下流までが砂・礫・岩、洗堰下流から淀川大堰までが砂・礫、淀川大堰～河口までが泥・砂となっている。

2) 流量（図 7.11）

流量は唐橋等で測定されており、それぞれの低水流量は唐橋で約50m³/s、淀大橋で約90 m³/s、枚方大橋で130 m³/s程度となっている。

3) 主な河川構造物（図 7.12）

堰やダム等について、上流から見ると、洗堰・天ヶ瀬ダム・淀川大堰が設けられており、このうち淀川大堰には魚道が設置されている。

(5) 魚介類の生息状況（表 7.1・表 7.3、図 7.13～図 7.14）

1) 冷水性の魚介類

①基本情報

河川水辺の国勢調査等によると、当該河川では冷水性魚介類は確認されていない。

②ヒアリング情報

下表のとおり。

2) 温水性の魚介類

①基本情報

温水性の魚介類は一般的にコイ・フナ類・オイカワ・ヨシノボリ類等が確認されている。

②ヒアリング情報

下表のとおり。

3) その他関連情報

アユについては河川水辺の国勢調査（国土交通省）等によると、三川合流点より下流で確認されている。

また、淀川においては上流の滋賀県・京都府内に内水面の漁業権が設定されており、アユ・アマゴ・ウナギ・フナの放流事業も実施されているが、大阪府内の流下域には漁業権が設定されていない。

表7.1 魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果概要（淀川）

項目	上流	中流	下流
魚介類の生息に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ●代表的及び特徴的な魚介類としてアユ・コイ・フナ・オイカワ等があげられる（宇治川漁協）。 ●イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（宇治川漁協）。 ●コイ・フナ類は上流全域に生息している（大阪府水生生物センター）。 ●河川水辺の国勢調査によれば、鹿跳橋でニジマスが確認されているが、当該種は周辺及び上流支流にて放流等されていること、主な生息域は支川の上流域なので、偶発的に出現した個体と考えられる（滋賀県水産試験場）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●代表的及び特徴的な魚介類としてイタセンパラ（大阪府水生生物センター）、コイ・フナ類（京淀川漁協）である。 ●イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（大阪府水生生物センター・京淀川漁協）。 ●コイ・フナ類は中流全域に生息している（大阪府水生生物センター・京淀川漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●代表的及び特徴的な魚介類としてイタセンパラがあげられる（大阪府水生生物センター）。 ●イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（大阪府水生生物センター）。 ●コイ・フナ類は下流全域に生息している（大阪府水生生物センター）。

表7.2 近年の水質状況（淀川）

水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100ml)			
				最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
瀬田川	A	唐橋流心	H16	0.5	2.8	1.0	0.9	2	7.5	8.5	6.5~8.5	7.7	13.0	9.6	7.5	1	7	3	25	17	13,000	5,000	1,000
			H17	0.5	2.4	1.0	1.0		7.6	8.6		7.5	12.0	9.7		1	6	4		79	4,900	1,200	
			H18	0.6	2.2	1.1	1.3		7.5	8.8		7.0	12.0	9.5		1	6	4		130	7,900	1,700	
瀬田川	A	洗堰下	H16	0.5	2.0	1.1	1.2	2	7.4	8.3	6.5~8.5	7.7	13.0	10.0	7.5	2	18	4	25	70	2,800	1,200	1,000
			H17	0.7	2.6	1.1	1.3		7.5	8.8		8.5	14.0	11.0		2	13	5		94	23,000	3,800	
			H18	< 0.5	1.4	1.0	1.2		7.4	8.1		7.8	13.0	11.0		2	8	4		70	4,900	1,500	
宇治川（1）	A	大峰橋	H16	< 0.5	1.2	0.7	0.8	2	7.2	7.8	6.5~8.5	6.8	12.0	9.6	7.5	1	5	3	25	140	13,000	2,100	1,000
			H17	< 0.5	2.1	0.9	1.0		7.4	8.2		7.2	10.0	9.0		< 1	7	3		33	11,000	2,400	
			H18	< 0.5	2.1	1.0	1.0		7.4	8.3		6.9	12.0	10.0		1	8	3		33	4,900	1,500	
宇治川（1）	A	宇治橋	H16	0.5	1.7	0.8	1.1	2	7.2	8.4	6.5~8.5	7.5	12.0	9.5	7.5	1	4	2	25	330	13,000	3,200	1,000
			H17	0.7	1.2	0.8	0.8		7.5	8.5		8.7	13.0	10.0		1	9	4		170	33,000	6,500	
			H18	0.7	3.6	1.5	1.0		7.5	8.1		8.2	12.0	9.8		1	8	3		49	3,300	1,100	
宇治川（1）	A	隠元橋	H16	0.6	2.7	1.0	1.1	2	7.1	8.4	6.5~8.5	7.7	12.0	9.8	7.5	1	6	2	25	170	7,900	1,600	1,000
			H17	0.7	1.4	0.9	1.0		7.3	8.7		8.5	13.0	10.0		1	8	4		460	11,000	3,800	
			H18	0.5	1.5	0.9	1.1		7.4	8.1		7.6	12.0	9.8		1	14	4		490	33,000	5,800	
宇治川（2）	B	観月橋	H16	0.6	1.8	1.1	1.4	3	7.4	8.2	6.5~8.5	7.9	12.0	9.7	5	2	3	3	25	490	7,900	2,400	5,000
			H17	0.7	1.3	0.9	1.0		7.6	8.5		8.5	14.0	11.0		1	9	4		790	33,000	6,900	
			H18	0.6	1.1	1.0	1.1		7.6	7.9		8.0	12.0	9.9		1	8	4		490	4,900	1,700	
宇治川（2）	B	宇治川大橋	H16	0.7	3.4	1.5	1.5	3	7.3	8.3	6.5~8.5	7.9	12.0	9.9	5	3	5	4	25	220	33,000	8,800	5,000
			H17	0.7	2.0	1.1	1.2		7.7	8.5		8.4	14.0	11.0		2	9	5		1,300	23,000	7,500	
			H18	0.6	1.8	1.3	1.5		7.7	8.1		8.0	12.0	9.9		3	9	6		940	7,900	3,400	
宇治川（2）	B	淀川御幸橋	H16	0.7	1.9	1.1	1.4	3	7.3	8.2	6.5~8.5	6.6	12.0	9.3	5	1	6	4	25	1,300	79,000	13,000	5,000
			H17	0.7	3.6	1.7	2.4		7.3	8.5		6.9	14.0	10.0		2	21	5		1,300	700,000	22,000	
			H18	0.6	1.9	1.1	1.3		7.5	8.0		6.5	12.0	9.4		3	16	6		1,300	130,000	13,000	
淀川下流（1）	B	枚方大橋	H16	0.6	2.3	1.1	1.1	3	7.4	8.2	6.5~8.5	7.1	12.0	9.5	5	1	13	6	25	280	79,000	14,000	5,000
			H17	0.8	2.4	1.3	1.5		7.4	8.3		6.9	13.0	9.9		2	14	6		460	49,000	5,600	
			H18	0.6	1.8	1.1	1.2		7.2	8.0		6.4	12.0	9.5		2	16	6		330	79,000	8,700	
淀川下流（1）	B	鳥飼大橋	H16	0.6	1.7	1.1	1.5	3	7.2	8.1	6.5~8.5	7.4	12.0	9.3	5	2	9	6	25	790	130,000	19,000	5,000
			H17	0.7	2.0	1.3	1.6		7.4	8.1		7.2	12.0	9.8		2	9	5		1,100	130,000	14,000	
			H18	0.6	1.6	1.1	1.2		7.3	7.9		7.3	11.0	9.3		2	14	6		1,100	23,000	6,900	
淀川下流（1）	B	西日本旅客鉄道 （株）赤川鉄橋	H16	0.5	3.8	1.3	1.4	3	7.3	8.8	6.5~8.5	7.5	12.0	9.5	5	3	9	6	25	630	23,000	8,500	5,000
			H17	0.8	2.7	1.6	1.7		7.5	8.8		8.7	13.0	10.0		3	8	5		490	11,000	4,100	
			H18	0.6	2.0	1.2	1.3		7.4	7.9		7.2	11.0	9.4		3	8	5		1,300	23,000	5,000	
淀川下流（2）	C	伝法大橋	H16	0.5	6.7	1.8	2.5	5	7.2	8.7	6.0~8.5	5.1	13.0	9.3	5	2	8	5	50	—	—	—	—
			H17	1.3	6.4	3.1	3.8		7.5	8.6		6.0	14.0	9.9		3	18	7		—	—	—	
			H18	0.5	7.1	2.7	4.1		7.4	8.8		5.3	18.0	10.0		3	13	7		—	—	—	

出典：公共用水域水質測定結果（平成16～18年度）

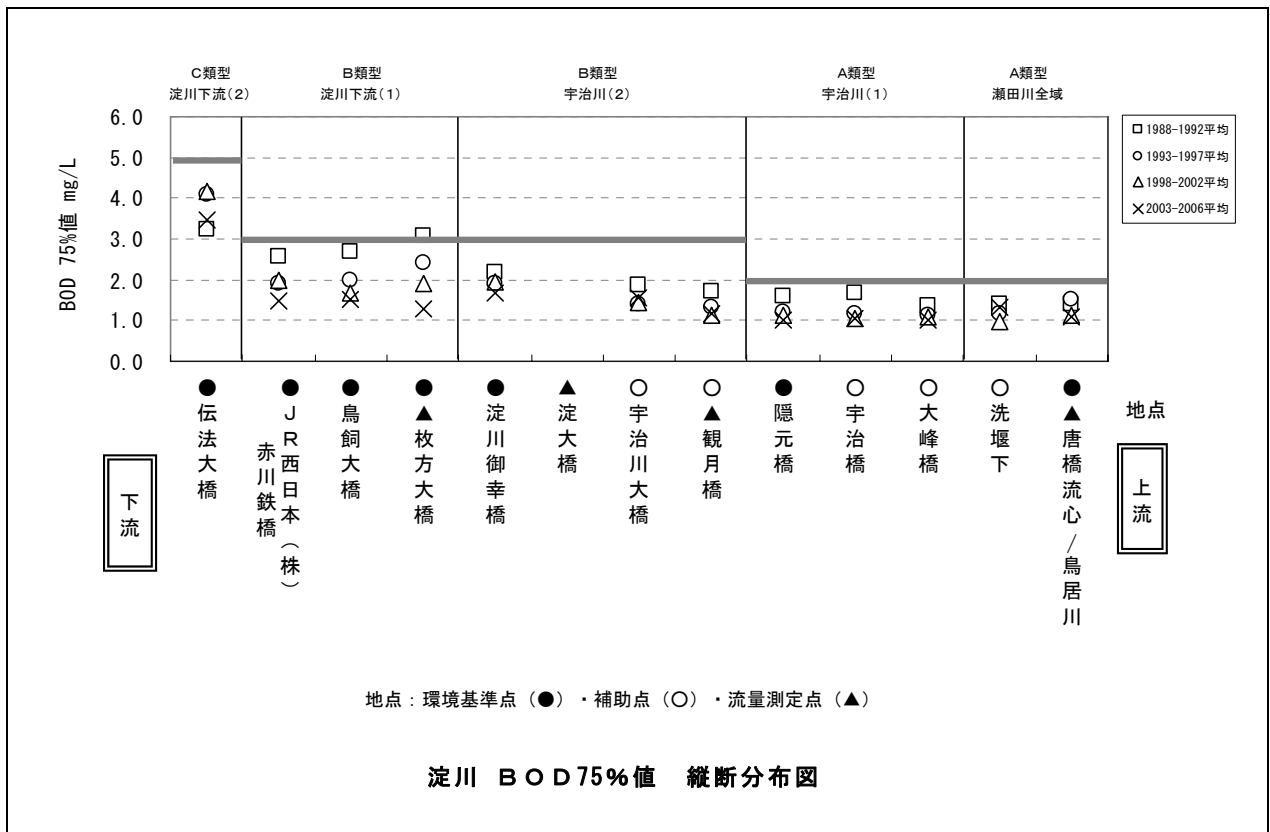


図7.2 BOD75%値の縦断分布図（淀川）

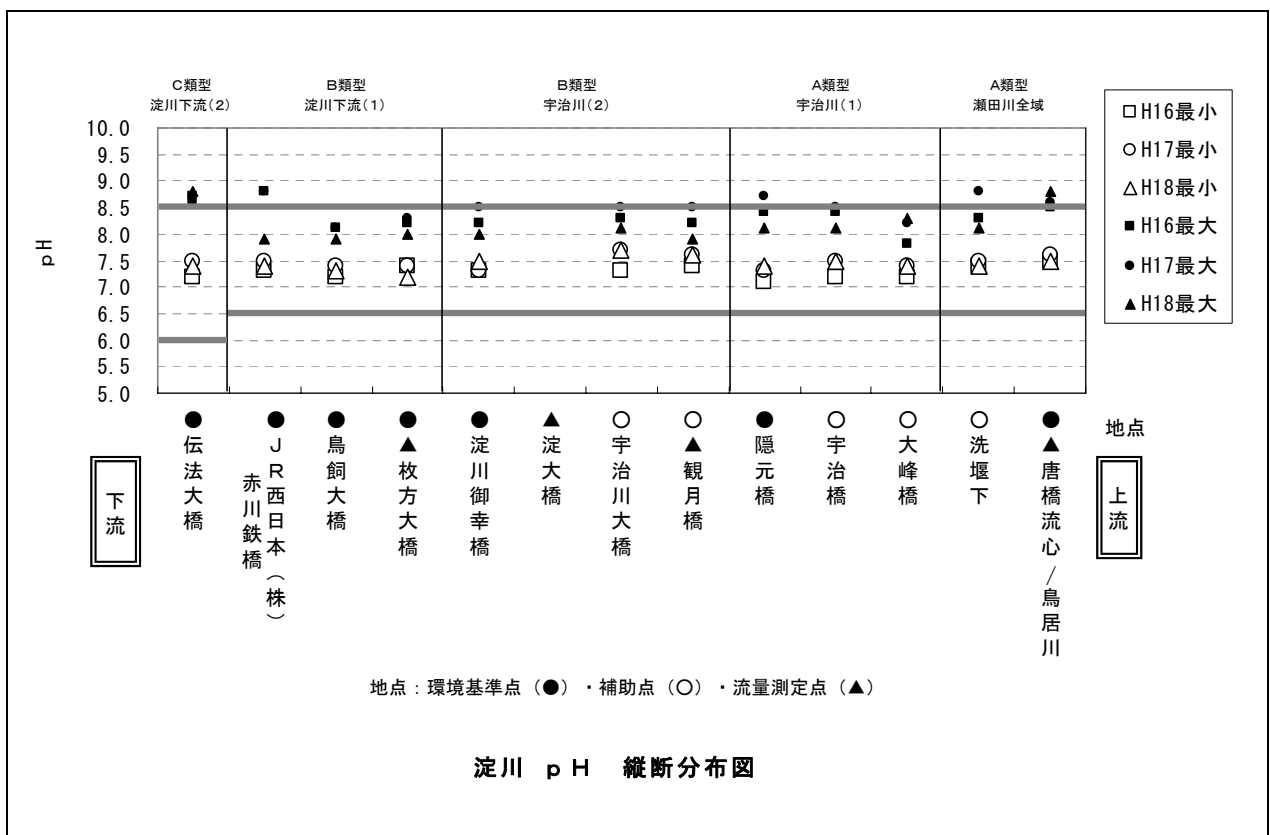


図7.3 pHの縦断分布図（淀川）

出典：公共用水域水質測定結果

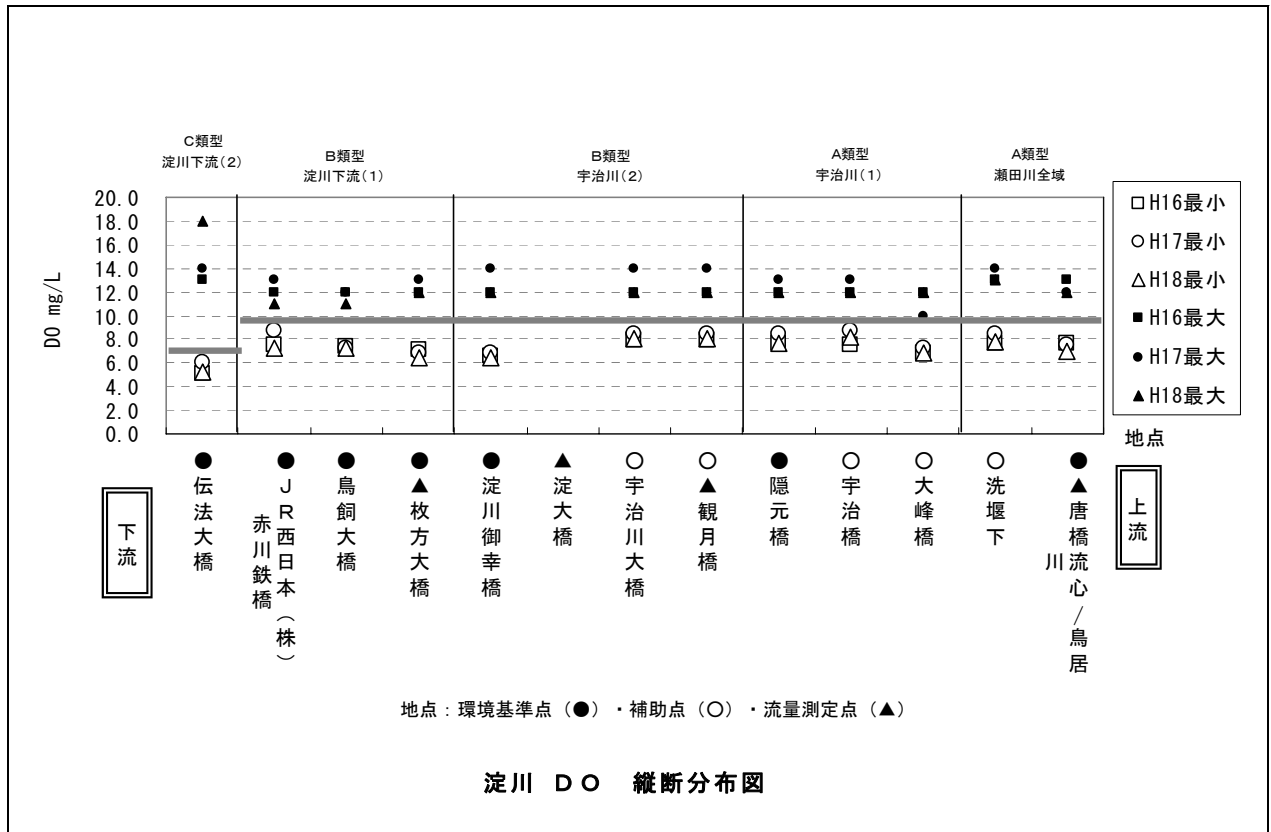


図7.4 DOの縦断分布図（淀川）

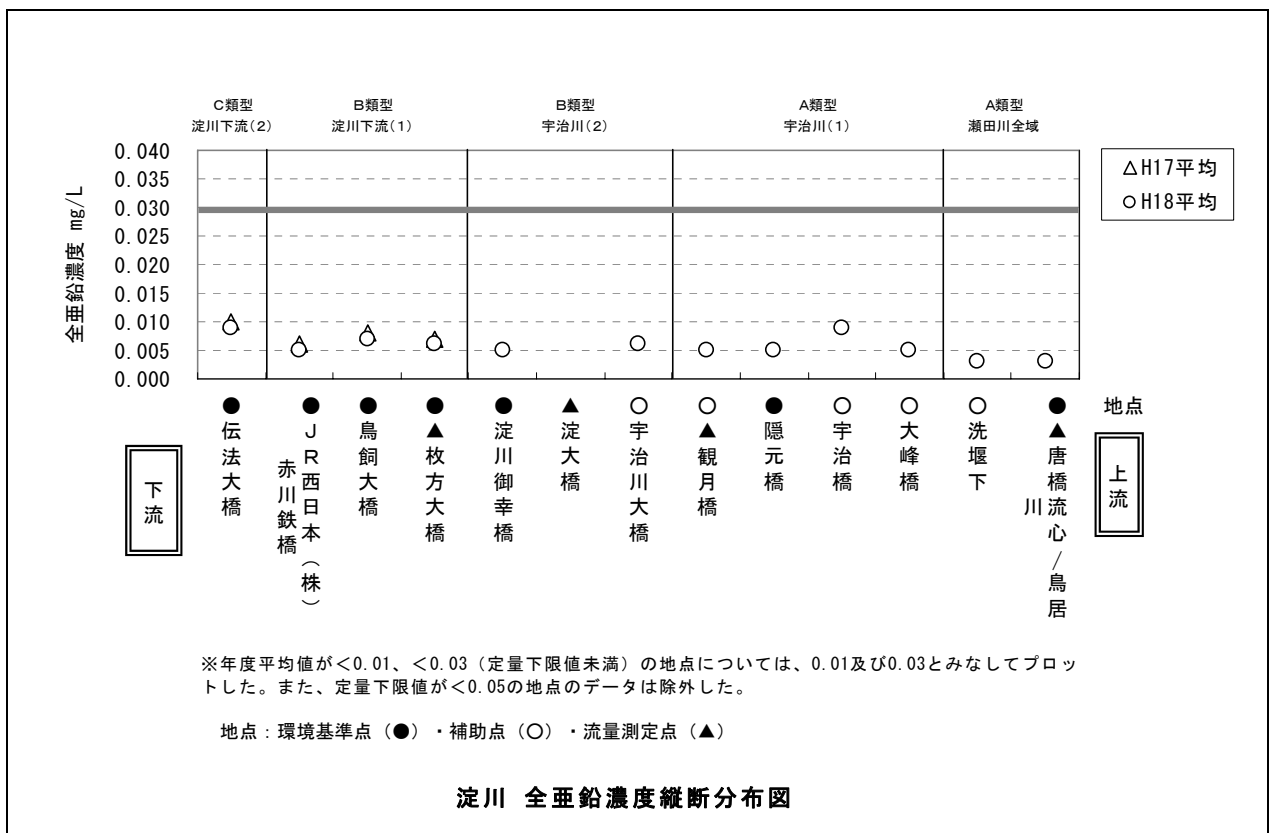


図7.5 全亜鉛の縦断分布図（淀川）

出典：公共用水域水質測定結果

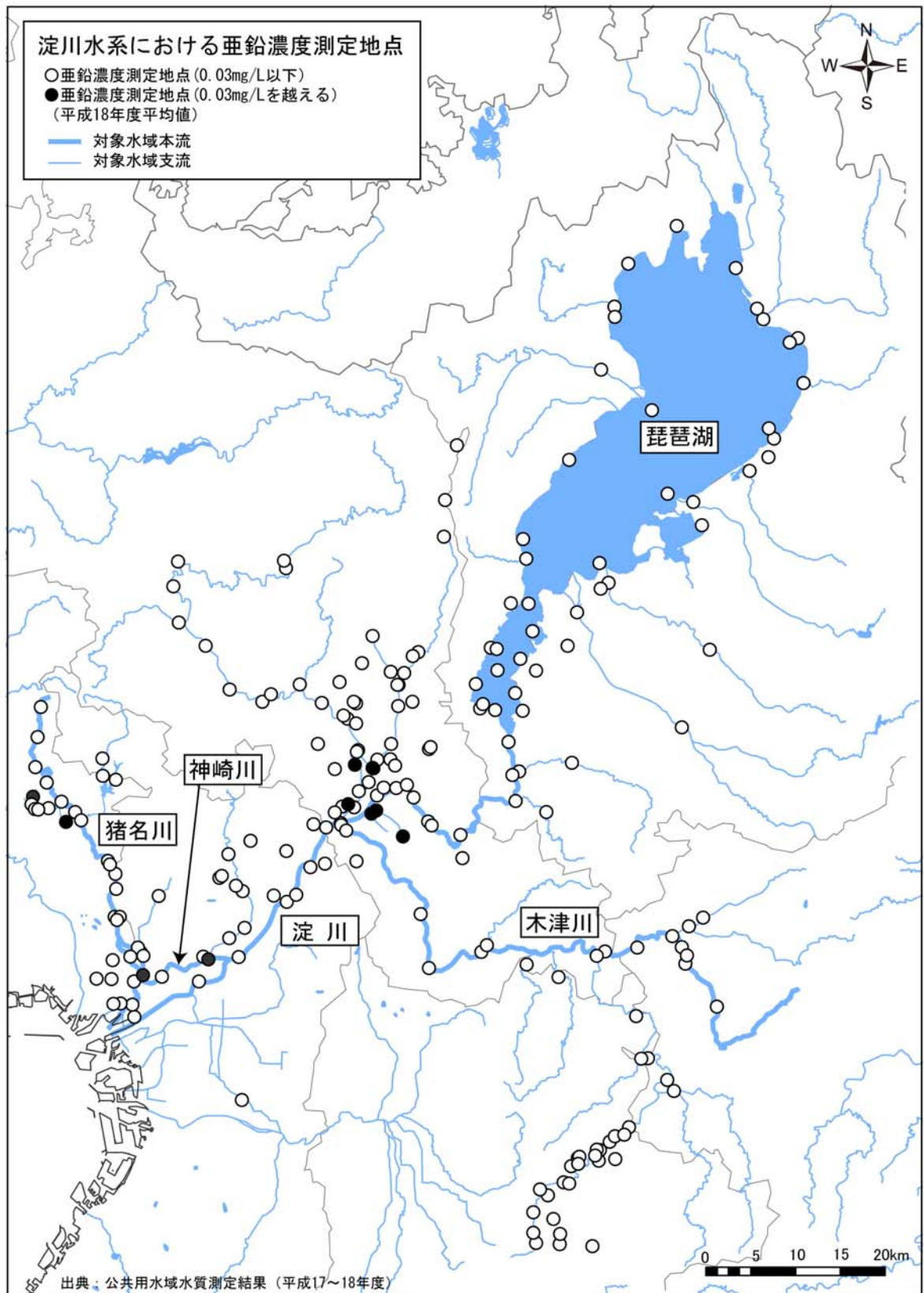


図7.6 亜鉛測定地点（淀川）

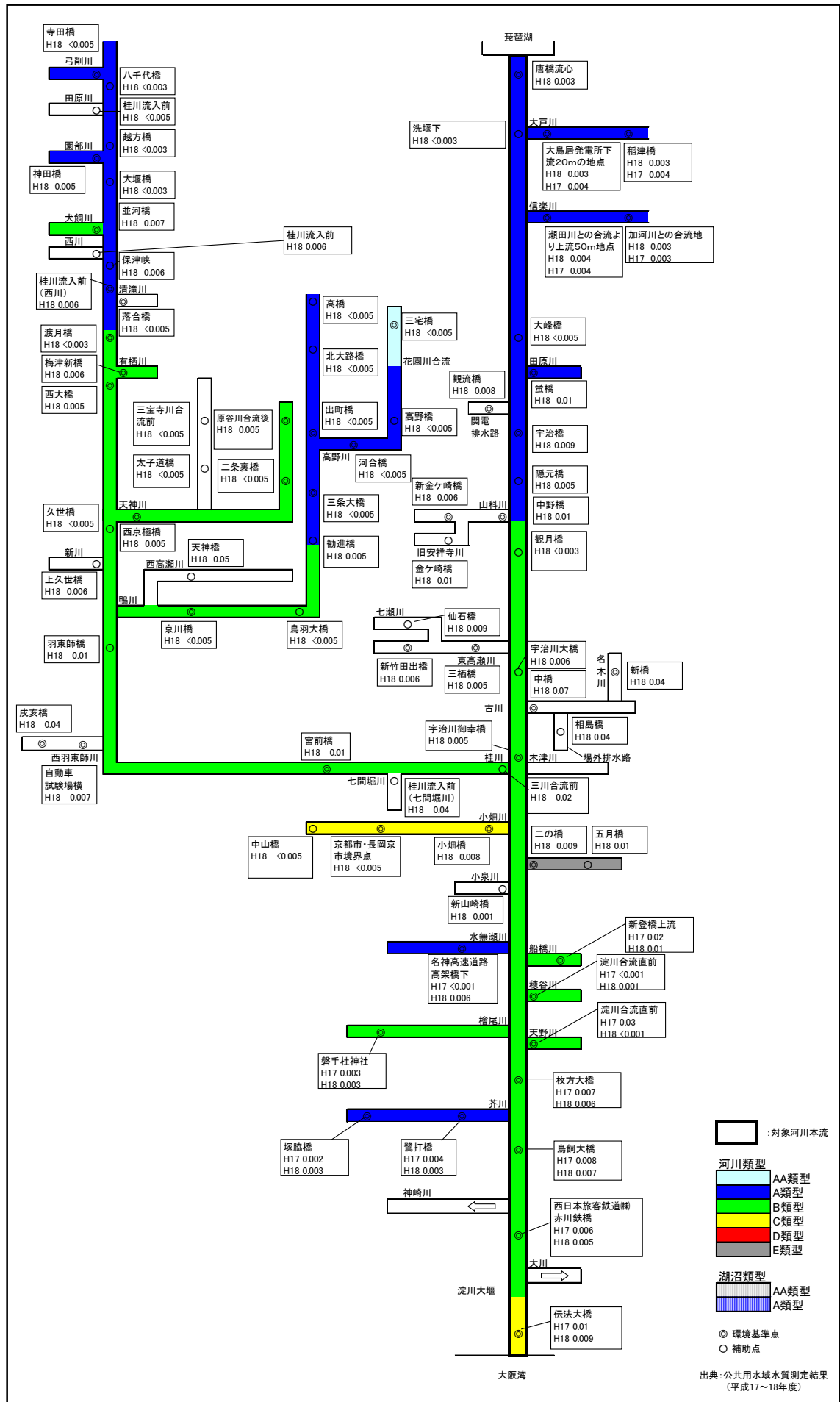
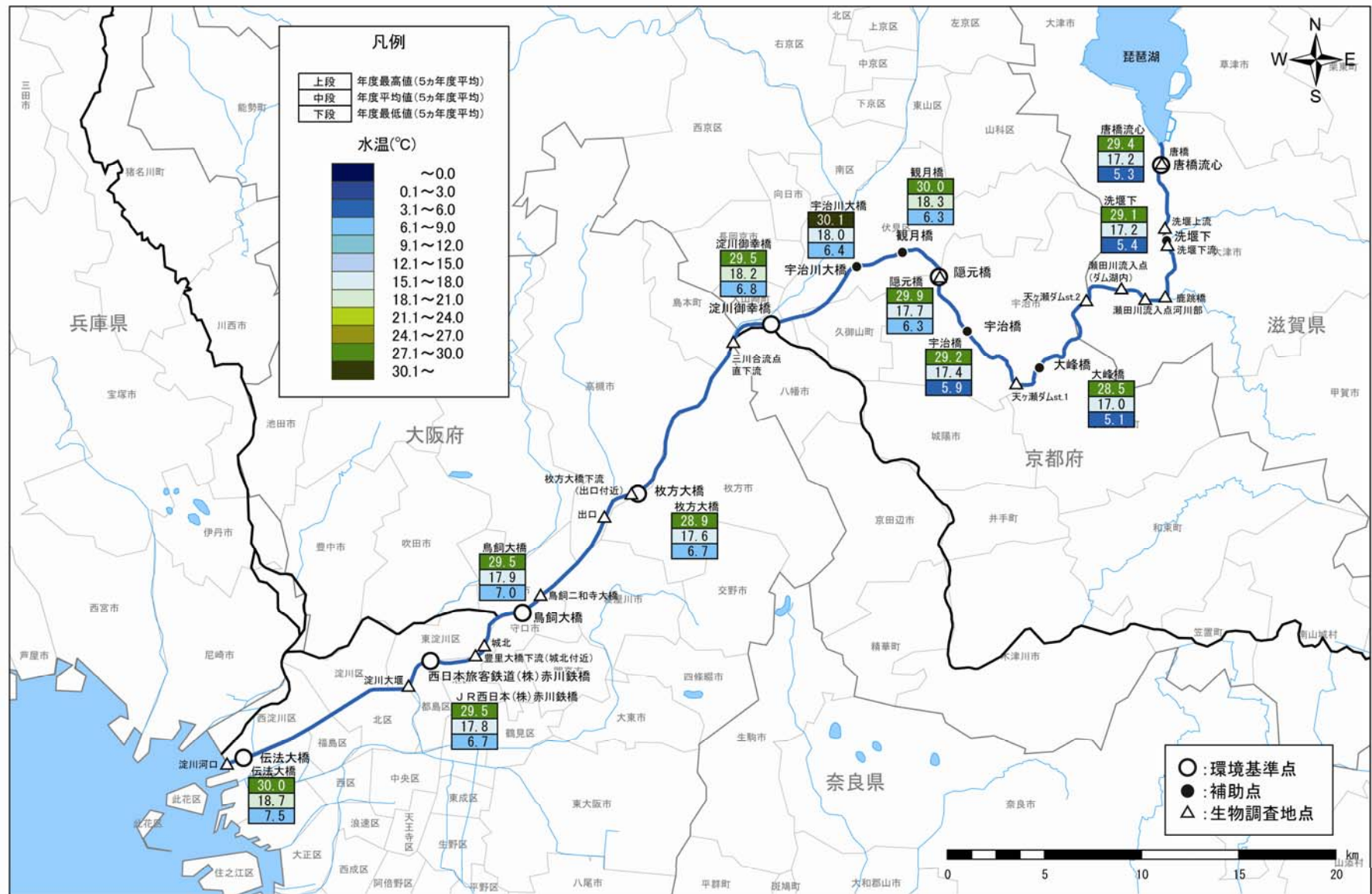


図7.7 亜鉛分布状況（淀川）



出典: 公共用水域水質測定結果(平成14~18年度)

図7.8 水温の分布図(淀川)

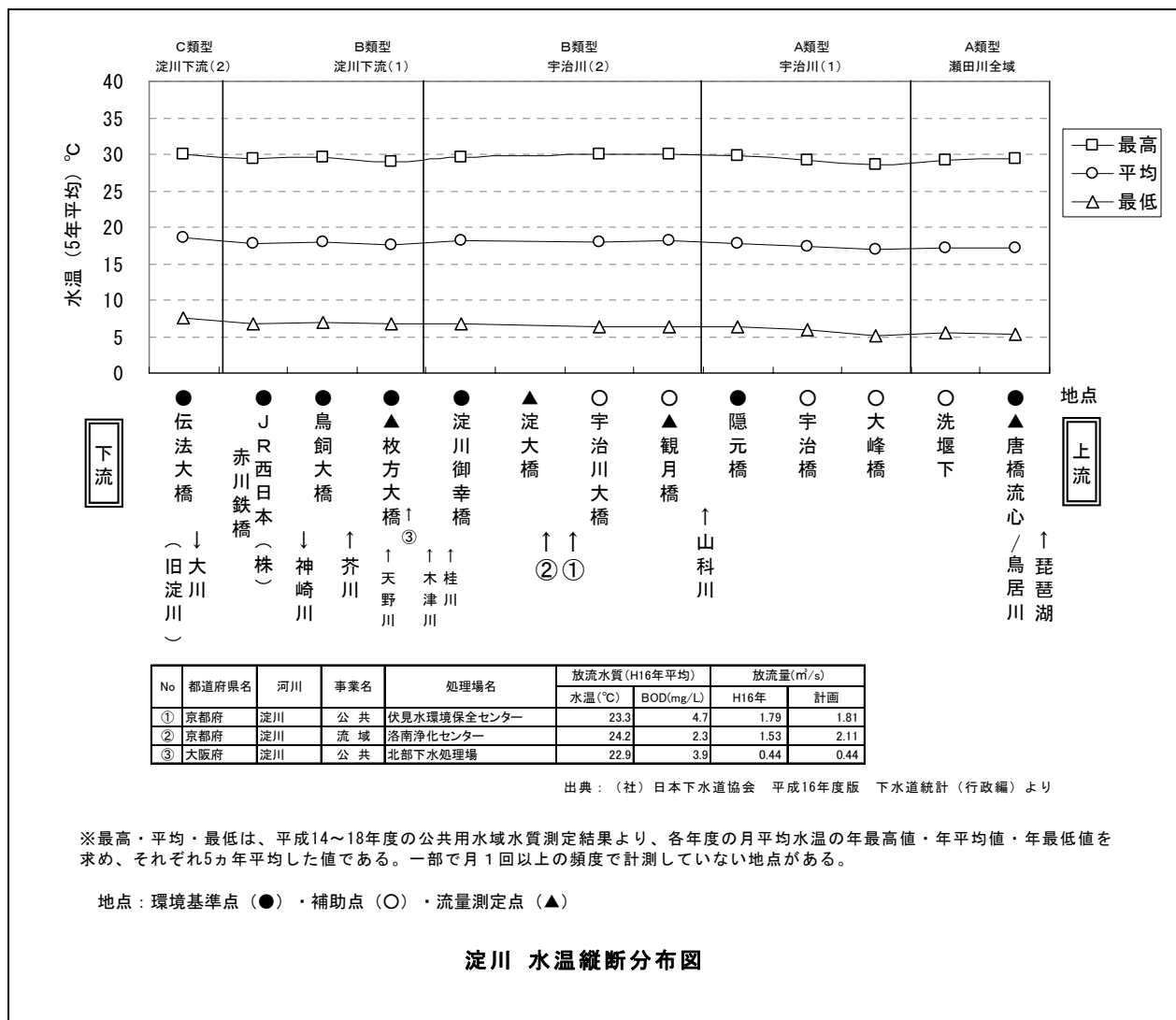


図7.9 水温の縦断分布図(淀川)

出典：公共用水域水質測定結果等

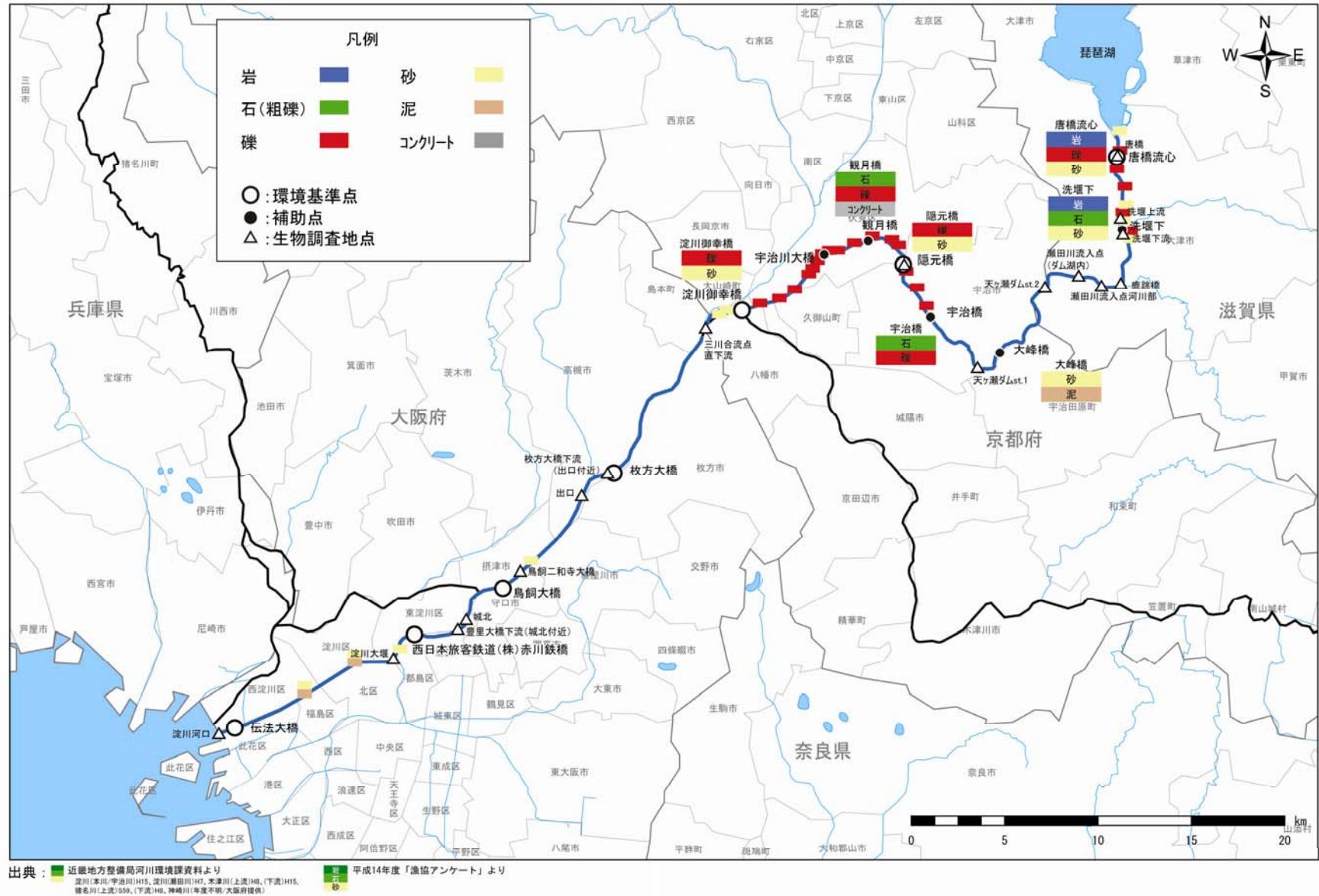


図7.10 淀川の河床材料図(淀川)

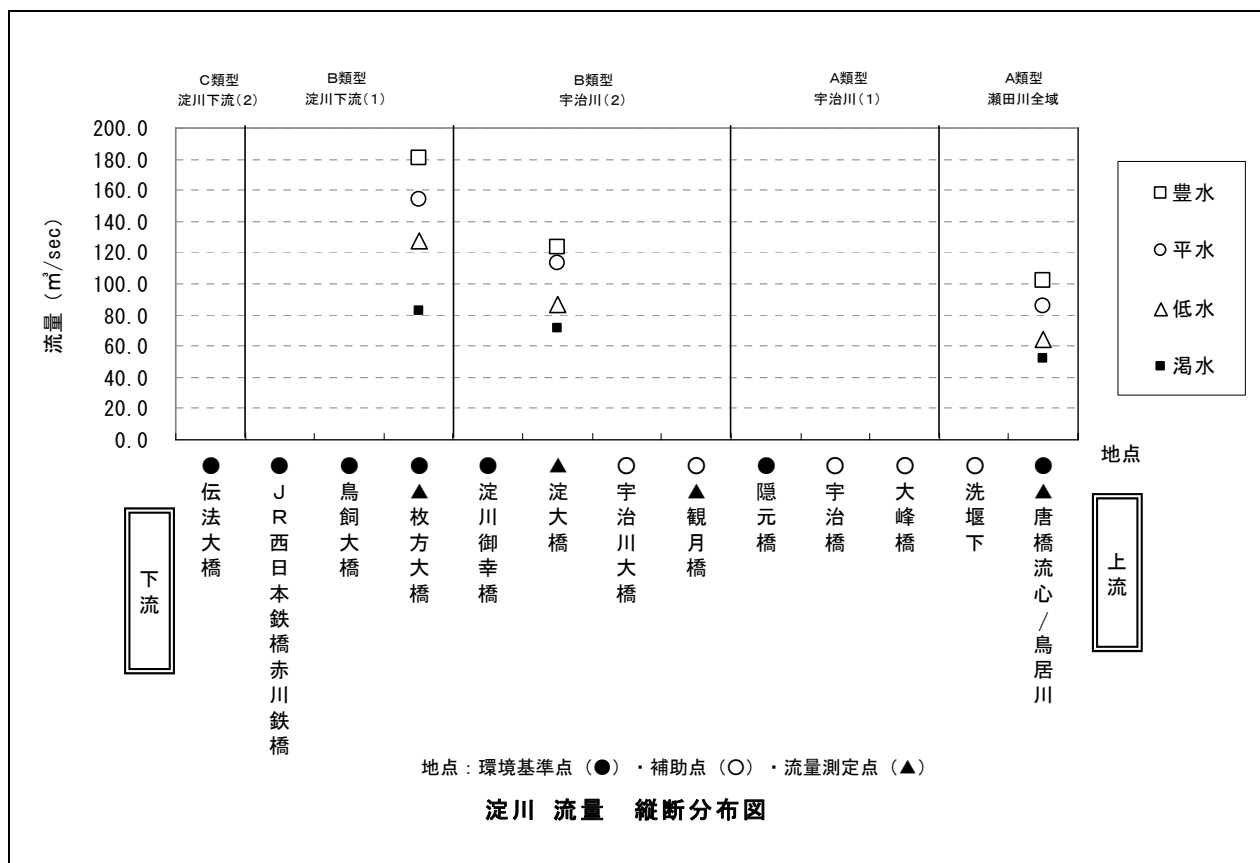
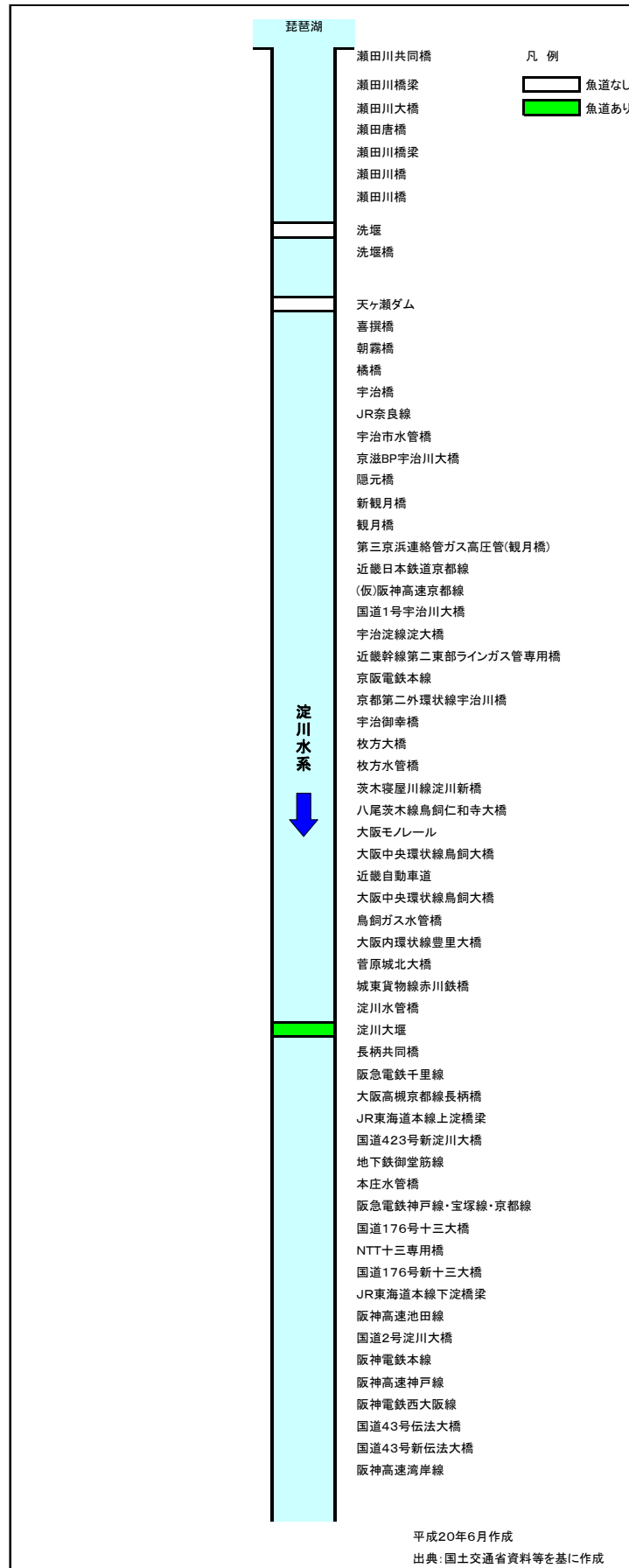
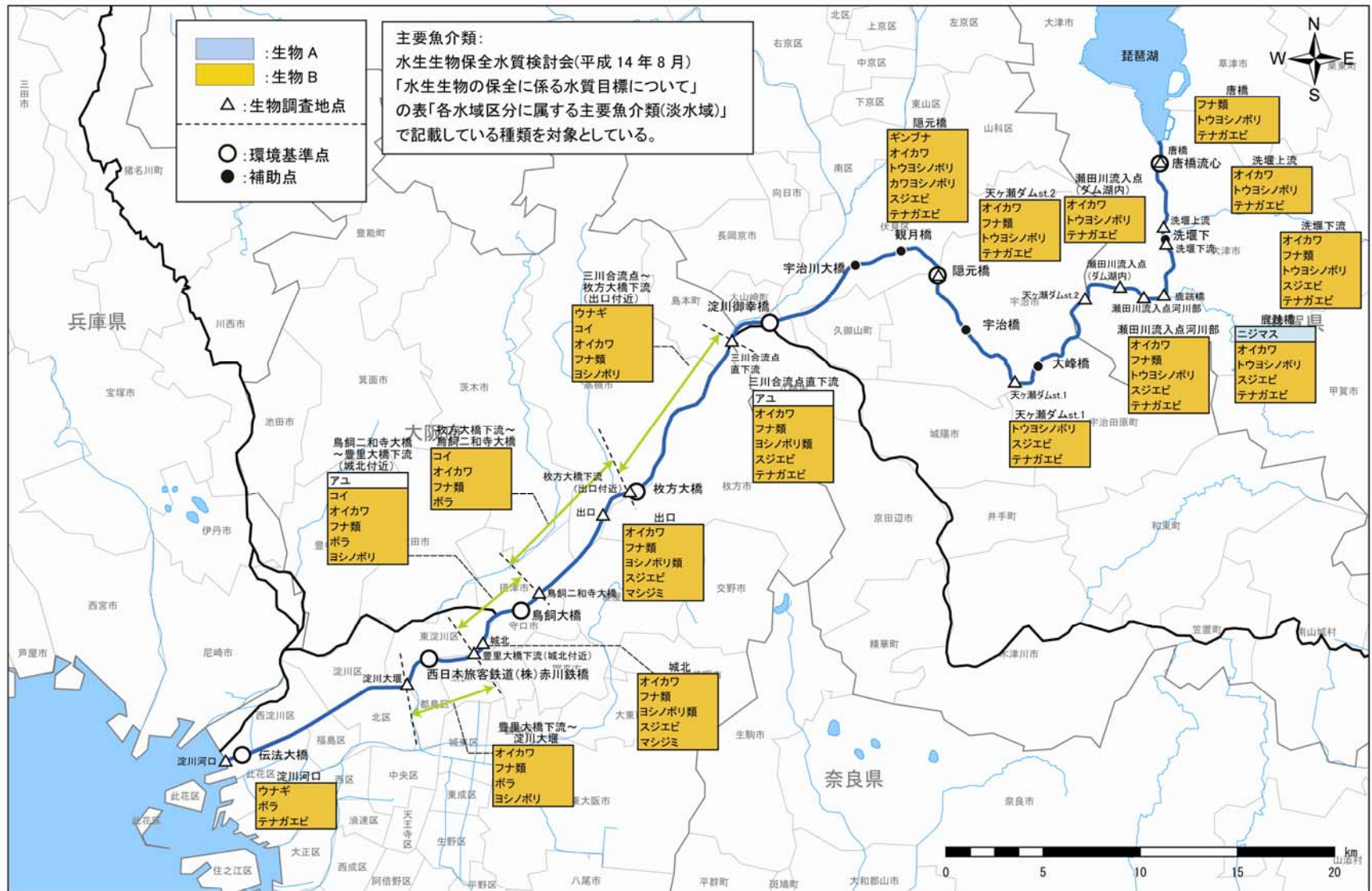


図7.11 流量の縦断分布図 (淀川)

出典：流量年表

図7.12 主な河川横断工作物（淀川）



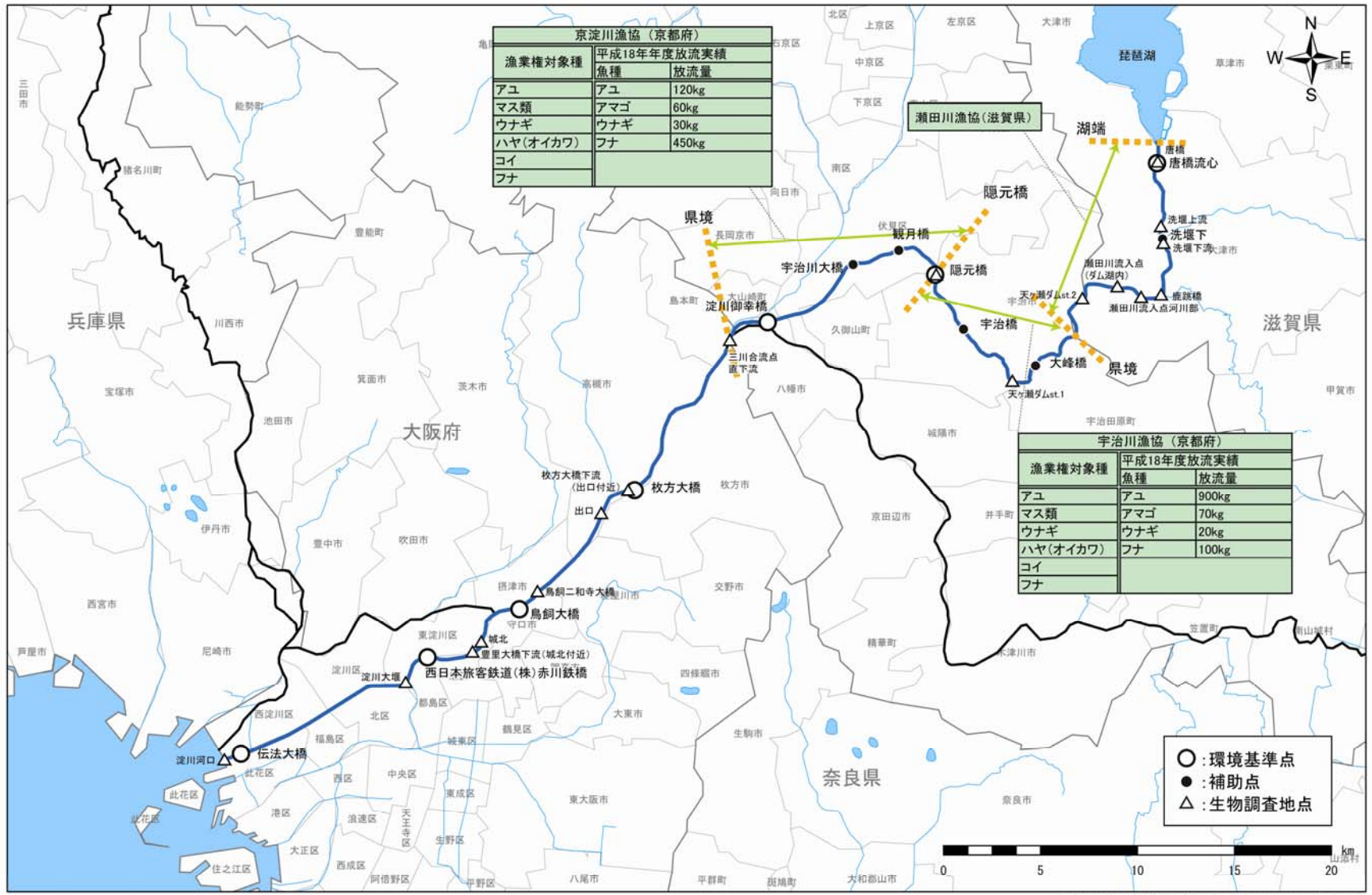


出典：平成14・16年度 国土交通省河川水辺の国勢調査・平成14年度 大阪府水生生物センター淀川魚類資源動向調査

図7.13 主要魚介類の確認状況（淀川）

表7.3 主要魚類の確認状況（既存調査結果）（淀川）

調査地点 出典・調査時期			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
			淀川河口	豊田大橋下流	城北	鳥飼二和寺大橋下流	鳥飼二和寺大橋下流	出口	牧野三川合流下流	三川合流下流	徳元橋	天ヶ瀬ダム	天ヶ瀬ダム	瀬田川流入点	瀬田川流入点	鹿渡橋	洗堰下流	洗堰上流	洗堰上流	鹿橋	
項目・分類・科・種名			国土交通省 河川水辺国勢調査	大阪府水産生物センター-淀川魚類資源調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	大阪府水産生物センター-淀川魚類資源調査	大阪府水産生物センター-淀川魚類資源調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	大阪府水産生物センター-淀川魚類資源調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	国土交通省 河川水辺国勢調査		
			平成14年度 (8月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度 (5月・10月)	平成14年7-8月	平成14年7-8月	平成16年度 (5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度 (5月・10月)	平成16年度 (6月・11月)	平成13年度 (5月・11月)	平成13年度 (5月・11月)	平成13年度 (5月・11月)	平成13年度 (5月・11月)	平成13年度 (5月・11月)	平成13年度 (5月・11月)	平成14年度 (6・8・10・3月)	平成14年度 (6・8・10・3月)	平成14年度 (6・8・10・3月)	平成14年度 (6・8・10・3月)
生物A	魚類	サケ科	ニジマス																		
生物B	魚類	アユ科	アユ																		
		ウナギ科	ウナギ																		
甲殻類	魚類	コイ科	コイ																		
		コイ科	ボシブナ																		
		コイ科	オйкаウ																		
		コイ科	フナ属 (Garassius) の一種																		
		コイ科	フナ類																		
		ボラ科	ボラ																		
		ハゼ科	トウヨシノボリ																		
		ハゼ科	カワヨシノボリ																		
		ハゼ科	ヨシノボリ属 (Rhithogobius) の一種																		
		ハゼ科	ヨシノボリ																		
甲殻類	魚類	テナガエビ科	スジエビ																		
		テナガエビ科	テナガエビ																		
その他	魚類	シジミ科	マシジミ																		
		コイ科	カネヒラ																		
その他	魚類	コイ科	シロヒレタビラ																		
		コイ科	イタセンバラ																		
		コイ科	タイリクバラタナゴ																		
		コイ科	バラタナゴ																		
		コイ科	ハウレン																		
		コイ科	ワタカ																		
		コイ科	ハス																		
		コイ科	カウムツ																		
		コイ科	モツゴ																		
		コイ科	タモロコ																		
		コイ科	サゼラ																		
		コイ科	カマツカ																		
		コイ科	ヒガイ																		
		コイ科	ビワヒガイ属 (Sarcocheilichthys) の一種																		
		コイ科	ニゴイ																		
		コイ科	ニゴイ属 (Hemibarbus) の一種																		
		コイ科	ニゴイ属 (Hemibarbus) の数種																		
		コイ科	ムギツク																		
		コイ科	モロコ類																		
		コイ科	コウライモロコ																		
その他	魚類	ギギ科	ギギ																		
		カダヤシ科	カダヤシ																		
		メダカ科	メダカ																		
		スズキ科	スズキ																		
		シマイサキ科	コトビギ																		
		サンフィッシュ科	ブルーギル																		
		サンフィッシュ科	オオクチバス (ブラックバス)																		
		ヒイラギ科	ヒイラギ																		
		タイ科	キチヌ																		
		ボラ科	メナダ																		
		イソギンボ科	トサカギンボ																		
		イソギンボ科	イダチギンボ																		
		ハゼ科	マハゼ																		
		ハゼ科	ヌマチネブ																		
		タインドジョウ科	カムルチー																		
		タニシ科	ヒメタニシ																		
		タニシ科	タニシ科の一種																		
		カワニナ科	カワニナ																		
		カワニナ科	チリメンカワニナ																		
		カワニナ科	Semisulcospira属の一種																		
カワニナ科	Biwamellana属の一種																				
カワニナ科	Biwamellana属の数種																				
イワガニ科	ハツタエモノアラガイ																				
イシガイ科	サカサガイ																				
イシガイ科	カワヒバリガイ																				
ニセウオノエ科	ドブガイ (タガイ、ヌマガイ)																				
甲殻類	魚類	テナガエビ科	イシガイ																		
		テナガエビ科	エビノコバン																		
甲殻類	魚類	ヌマエビ科	シラタエビ																		
		アメリカザリガニ科	スジエビモドキ																		
甲殻類	魚類	イワガニ科	ミナミヌマエビ																		
		イワガニ科	アメリカザリガニ																		
甲殻類	魚類	イワガニ科	カフサイツガニ																		
		イワガニ科	イツガニ																		



出典: 京都府・滋賀県資料・平成18年度ヒアリング調査
 ・平成19年度ヒアリング調査より

図7.14 漁業権設定状況・放流状況 (淀川)

